事業番号 2022 - デジ - 21 - 0001 - 03

				<u> </u>				ピュー	ーシート	(タル庁)					
事業名	デジタ	ル連携基盤			担当剖			8局庁	デジタル社会	共通機能グル	レープ	作月	支 責任者			
事業開始年度	令和3年度 事業終了 終了予定なし				なし	担当	課室	データ班			参事官 三	島由佳				
会計区分	一般会	会計														
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル社会形成基本法第31条 デジタル庁設置法第4条							する 通知等	・デジタル社会実現に向けた重点計画(令和4年6月7日閣議決定) ・デジタル・ガバメント実行計画(令和2年 12 月 25 日 閣議決定)							
主要政策・施策	-							経費	その他の事項経費							
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)								たデータを	行政手続等で	活用する際に	、その行政イ	ンターフェース	とベース・レジスト			
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	社会全体のデジタル化を促進するためには、共通的に使用されるベース・レジストリや、様々な行政手続のインターフェースとの相互連携を円滑に行う機能 を備える必要がある。そのため、セキュリティレベルの高いデータの連携に広げたプロトタイプによる検証を進める。															
実施方法	委託•	請負														
				令和	1元年度	•	令和2年度	Ę	令和3年度	Ę ;	令和4年度	令和	05年度要求			
		当初予														
		補正予														
	予算の状	前年度から														
予算額・	況	翌年度へ														
執行額 (単位:百万円)		予備費	[寺		_											
		計			0		0		0		0		0			
		執行額							0							
		執行率(%	•		-		-		-							
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)			-			-		_							
	歳出予算目			令和4年	度当初予算	令:	和5年度要	東求	主な増減理由							
令和4·5年度																
予算内訳 (単位:百万円)																
		 計			0		0									
活動内容 (アクティビ ティ)	行政サービスを利用する人が、スマホ60秒で手続きを完結できるように、手続時における、プレ表示機能やプッシュ機能などを実現する。また 民間サービスも行政サービスのフロントエンドを担えるようにすることで、国民がより多様な UI・UX を選択できるようにするとともに、多様なサー ビスの新規参入を促す。 こうした利便性の高いデジタルサービスを更に推進するため、デジタル連携基盤の実現を目指す。												に、多様なサー			
活動目標及び		活動目標		活動指標				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込			
活動実績 (アウトプット)	接続す	するサービス	数の拡	接続する	サービス数	_	活動実績	サービス		-	-	-	-			
	- 1		Andre i I e	+ ⊟ +bn		当初見込み				- 全和2年度	- 4左度	二				
			算出	依拠			単位当たり	単位	令和元年度	市和2年度	令和3年度	4年度	[活動見込 ————			
単位当たり コスト						コスト										
			/	•			計算式	/								

				定量的な成果目標	標	成果指標			単位	令和元	- 年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標	最終年度 年度		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)								成果実績						12		- 1 (~		
								目標値										
							達成度	%										
	計・元	,て用(データ ・ ・ ・ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
		的な		定量的	内な目標が記	没定できない理由	3			定性的な成果目標と令和元年~令和3年度の達成状況・実績								
なし	・理	定ででは、	び定 果目	行政手続のワンスオン 向上を図るとともに、ス 図るために整備を進め が困難なため。	スマートシテ	ィ等の新しいサ-	ービスの	り創出を	パイロッ	パイロットシステムやプロトタイプを使って、実証実験や検証を行う。								
		の妥		代替目標		代替指標			単位	令和え	年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 7 年度	目標:	最終年度 年度		
難しる	かの	証する代替に	的な	接続するサービス数 <i>σ</i>	の拡			実績	サービス	٠ -	-	-	-					
場 合		目標》 実績	及ひ	大	接続	接続するサービス数		目標値	サービス	٠ -	-	-	_	5		10		
		成县	日相	 及び成果実績(アウト	トカム)欄に	ついてさらに記憶	散が必	達成度	% まチェッ⁄	_ ז⊦ מל	別紙1]に記載	 チェッ	 /2				
II.	t								<u> </u>	, ., <u>_</u>	23464 .	71-HO-#4	7.27					
政策評価		政 「策 _	以束	政策2 情報通信技術	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	効率化に関する												
との関係 より おいましょう おいまい おいまい おいまい おいまい という はい という はい という はい という はい という はい という はい しょう	٠	神神	施策	政策2一① 情報シス	ステムの整備	Ħ		i評価書 URL 当箇所	Ĺ									
	1	新		分野:														
	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2		取組 事項	(新経済・財政再生計 UR														
- 6	- 1 1 1	程度		該当														
通	i i	表 4																
<u> </u>	i a	交 生				事業	所管部	8局による	る点検・	改善								
I	ī	交 生			項目		所管部	#局による		改善 評 価			評価に関	する説明				
国	事	<u>~ 4</u>	目的	は国民や社会のニース	項目	1	所管部	部局による						現するなど社	会全体	本の効率		
国費投入の	事	業の		は国民や社会のニース	項 目 ズを的確に原] 豆映しているか。	所管 部	形局によ る		評価	性向」 「デジベース リを連	上を図るため タル庁設置だ く・レジストリ(携させるため	オンリーを実 ニーズを反明 よ」において、 の整備が求め	現するなど対している。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ	任務と	こして、		
国費投入	事地政	業の	治体、		項 目 	目 				評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め いに必要となる する必要があ 、確保されたれ	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要	事 地 政事	(策目)	治体、	、民間等に委ねることだ	項 目 ズを的確にができない事	国 一 京映しているか。 事業なのか。 事業なのか。 事業が。政策体系				評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要	事 地 政事	業の意味を	治体・ 的の・ が確し	、民間等に委ねることが	項 目	事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 妥当か。 表契約(企画競争	 の中で	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要	事 地 政事	また ま	治体ののでは、	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契	項 目 ズを的確にができない事	東業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 要当か。 最契約(企画競争	 の中で	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事	事地政事競	・ 業 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	治体・ののでは、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となった	項 目 ズを的確にができない 事 かつ 適切な事 先の選定は たものはない ったものはない	東業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 要当か。 最契約(企画競争	 の中で	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の	事地政事競	な 第二	治体・ のが一番の が一番の が一番の を を の の が一番の を の の の の の の の の の の の の の の の の の の	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となっか 生のない随意契約となっ	項 目 ズを的確にがができない事かつ適切な事 先の選定は 記れている かったものはない ったものはない ったものはない ったものはない ったものはない かったものはない かっぱんかっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん	東業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 要当か。 最契約(企画競争	 の中で	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率	B	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	治体・ の・ が確し、 を持ち、 を持ち、 の・ には、 の・ には、	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となった 生のない随意契約とな 負担関係は妥当である	項 目 ズを的確にが ができない。 ・つ適切な事 ・ 先の選定は ・ たものはない ったものはない。 ・ たんか。	東業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 受当か。 最契約(企画競争 いか。	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効	事地政事競	また 一葉 一条	治体、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のの	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となった 性のない随意契約となった 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当な	項目 ズを的確にができない事かつ適切な事 先の選定は随意にない。 たものはない。 かか。 かっなも理的なき	東業なのか。 事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 最実的(企画競争いか。 ないか。	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率	事地政事競一受単資費	業の角目が性「利力を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	治体のが一番競とた流速	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 以及は一者応募となっか 性のない随意契約となる 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出は	項目 ズを的確にがができない。 かつ適切な事 先の選定は随意たものはない。 かったものはない。 かっなったものはない。 かっなったものはない。	東 実なのか。 事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 は妥当か。 は契約(企画競争いか。 ないか。	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率	事地。」一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	業方策業争益位金目用	治体のが一番競とた流速が一番を争のしている大	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となった 性のない随意契約とない 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出は の中間段階での支出は パ事業目的に即し真に	項目 ズを的確にない。 ができない。 かの選とははない。 かられたものはない。 からない。 もっと。 からない。 からない。 もっと。 からない。 もっと。 からない。 もっと。 からない。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率		る	治的。が一般なりに流速ががが一般な争りのリれの大き	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出が 競争契約、指名競争契 以及は一者応募となった 性のない随意契約となった 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出に が事業目的に即し真に きい場合、その理由は	項 目 ズを的確にがができない事ができない事 先の異はははないかか。 はないない かっと 必要 当か。(理	東業なのか。 事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 以受当か。 はいか。 はいか。 ものとなっている に限定されている に限定されている に限定されている に関定されている に関定されている に関定されている	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率	事し、地の事の競の一、受し単一資し費し不一繰して	*	治的。が一者競とた流速ががコー体の確策を争りません。大大大	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契 に又は一者応募となった 性のない随意契約となっ 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出に が事業目的に即し真に きい場合、その理由は きい場合、その理由は	項 「 す で きない ができない の の の の 選は随意ない からい からい からい からい からい からい からい から	東 東 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の中で)による	優先度の	高い	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率性		は 業 方 策業 争 益 位 金 目 用 越 の 果 業 一 の 自 目か 性 「 者 」 の 何 率 額 他 実 実	治的。が一般について流をががコ績施はかり、ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出 競争契約、指名競争契約となった。 性のない随意契約となった。 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出に きい場合、その理由は きい場合、その理由は きい場合、その理由は 削減や効率化に向けが	項目での確にができない。 かっかっかっかっかっかっかっというがったものがったものがった。 がったい がったい がったい がったい がったい がったい がったい がったい	事業なのか。 事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 に受当か。 はいか。 をはいか。 ものとなっている に限定されている 理由を右に記載) 理由を右に記載)	.の中で)による か。 るか。	優先度の	高い ち、一	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		
国費投入の必要性事業の効率性事業の		*	治的。が一者境とた流吏ががコ績施に体の。確般を争のりれる大大人はには	、民間等に委ねることが 達成手段として必要か 保されているなど支出。 競争契約、指名競争契約、指名競争契約となった。 性のない随意契約とない 負担関係は妥当である コスト等の水準は妥当が の中間段階での支出は きい場合、その理由は きい場合、その理由は きい場合、その理由は きい場合、その理由は 対域や効率化に向けが 成果目標に見合ったも 当たって他の手段・方法	項 可確に ができない。 かの のの のの のの のの のの ははははない。 から から から から から から から のはないない。 から から のはないない。 から のはないない。 から のはないない。 のはないない。 からのはない。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	事業なのか。 事業なのか。 事業なのか。 事業か。政策体系 に受当か。 はいか。 をはいか。 ものとなっている に限定されている 理由を右に記載) 理由を右に記載)	.の中で)による か。 るか。	優先度の	高い ち、一	評 価 O	性 デスレー 正ス でん 確で	上を図るため、 タル庁設置だいしいではいいではないしいできませるため は、性ではないで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	オンリーを実 ニーズを反明 は」において、 の整備が求め かに必要がま する必要がま でなれたれ ジストリを活	現するなど社 としている。 デジタル庁の うられており、 る基盤システ ちるため。 社会の基盤と 用するために	任務と ベース ムは、・ なるデ	こして、 ・・レジスト デジタル		

	関連する	事業だ	がある場	易合、他語 容を各事	部局・他府4 業の右に言	当等と適な 己載)	切な役割分担	を行っている	るか。(役	-						
関連		Ę	事業番号	클		<u></u> 事業名										
事業	2022	デジ	21	0001	12		法人デ-	ータ連携基盤	Ě							
点検・改善	点検結	果 -														
改善結果	改善の 方向性) E 係	ジタルを組織と	連携基盤 密に連携	の整備に「 し、引き続	句け、マイ き検討を:	'ナンバー制度 進める。	き及び国と地	!方のデジ	タル基盤	抜本改	女善ワーキ	ンググル	ープにおける	議論を注視しつ	つ、関
								外部有識	者の所見	,						
_																
							行政事第	美レビュー丼	進チー.	ムの所見	ļ					
	現 状 通 り	事業の	の有効が	性・効率は	性・成果に	ついて、適	適切かつ的確!	に検証し、効	本的執行	に努める	べき。					
	9	<u> </u>				所具	を踏まえた	改善占/概	質要求に	おけるほ	比如豆	· 沪				
	 現	<u> </u>				17170	, e pg &/c/c/	4 D MI 1996	7-X411-	.0017 02	~~~	170				
	現 状 通 り	引き糸	売き事業	美の有効	性・効率性	・成果につ	ついて適切か	つ的確に検	証し、効率	的執行に	子努め.	る。				
								備	考							
							関連する過	基去のレビュ	ーシート0	の事業番	号					
平成2	3年度															
平成2	4年度															
平成2	5年度															
平成2																
平成2																
平成28																
平成29																
平成30																
令和元 一 令和2																
予和2 令和3																
טעיז נד) 牛皮	*	令和3年	度実績を	記入。執行	実績がない	い新規事業、新	 所規要求事業	については	は現時点で	予定な	ゥイメージを	記入。			
	金の流れ		※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。													
り先が ている て補	金の受け が何を行 るかにつ 記足する) 江:百万円	つい			,	1			以用五社							